

北海道組違法献金事件“原資”の解明ナシで幕引きは許されるのか

昭和42年1月26日第3種郵便物認可 第45巻第7号 毎月1日発行 平成22年7月1日発行(平成22年6月14日発売) 発行所 株式会社太陽 札幌市中央区大通西28丁目

道民雑誌

7

2010

アサヒ

本道

菅首相誕生で候補乱立参院選の行方

JAL再建「迷走」で泣くのは善良な個人株主だ!!

JR在来線経営分離で暗礁に乗り上げる北海道新幹線の末路
沿線自治体が猛反発

どうなる道内商工会議所11月一斉改選札幌旭川函館釧路帯広

町村信孝衆議院議員「参院選、5区補選、統一地方選…生まれ変わった自民党はこう戦う」



524



池田 雄一社長

会社設立からの7年間で、年間施工100棟以上の住宅メーカーに急成長した㈱ロゴスホーム（池田雄一社長）。同社は気密性や耐震性に優れた枠組み工法「2×6」を採用。急成長の秘訣は、「仮想の顧客（ペルソナ）」を設定し、それに合わせた家づくりを行なう「ピンポイント営業戦略」。家族構成、職業、年収、趣味などを具体的に設定し、それに合わせた家を設計する。「誰にでも受け入れられるものは、誰にも受け入れられない。顧客ターゲットを細かく設定することで、満足度の高い住宅を提供している」と池田社長。

さらに、通常は営業マンが行なう設計（プランニング）を同社では設計士が担当。漠然とした顧客のニ

工100棟以上の住宅メーカーに急成長した㈱ロゴスホーム（池田雄一社長）。同社は気密性や耐震性に優れた枠組み工法「2×6」を採用。急成長の秘訣は、「仮想の顧客（ペルソナ）」を設定し、それに合わせた家づくりを行なう「ピンポイント

営業戦略」。家族構成、職業、年収、趣味などを具体的に設定し、それに合わせた家を設計する。「誰にでも受け入れられるものは、誰にも受け入れられない。顧客ターゲットを細かく設定することで、満足度の高い住宅を提供している」と池田社長。

6月に千歳支店開設、ピンポイント営業戦略と設計士によるプランニングで躍進

株式会社ロゴスホーム

帯広市東3条南13丁目2 L-mina 2F
☎(0155)22-4126

ズを詳細に把握し、形（設計図）

にすること

で高い顧客満足度を誇っている。

6月には、



排水処理プラントの開発・施工を手がける㈱ヒューエンス（設楽守良社長）は、1999年に設立。同社では、北海道大学井口学教授の指導のもと、「オゾンによる有機性廃液処理技術」を開発。「旋回噴流式オゾン酸化法」のコアとなる搅拌技術で特許を取得した。

さらに、昨年11月には粉体や固体などの低密度粒子を液体中に均一に分散させることができる「分散装置」の特許を取得。このほか、昨年4月に経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社（日本のイノベーションを支える

環境とコストを考えた汚泥の少ない排水処理施設

株式会社ヒューエンス

帯広市東4条南13丁目19番地
☎(0155)27-0011

モノ作り中小企業部門）に選定されている。

設立当初は、酪農関係へのシステム導入がメインだったが、現在では、食品加工工場などから排出される排水を低成本で処理できる環境浄化システムとして、全国各地への導入が拡大している。

同社の「オゾン排水処理システム」は、污水を効率的に高速攪拌し、強力な酸化力で有機物を分解。低温でも分解能力が安定し、脱色・脱臭にも優れている。特に汚泥の発生が極めて少なく、従来の処理法に比べて、汚泥発生量を約10分の1に低減でき、費用削減」の2つのメリットを持つ。



▲泥水中硫化水素処理施設（上）と食品加工場排水処理施設（下）

同社の「オゾン排水処理システム」は、污水を効率的に高速攪拌し、強力な酸化力で有機物を分解。低温でも分解能力が安定し、脱色・脱臭にも優れている。特に汚泥の発生が極めて少なく、従来の処理法に比べて、汚泥発生量を約10分の1に低減でき、費用削減」の2つのメリットを持つ。

環境分野は次世代産業と言われており、企業としてきちんと存在価値を高めていくことがこれから北海道にとって重要なことだ」というポリシーを持ち、「今後も事業展開を行なつていきた」と設楽社長は力を込める。